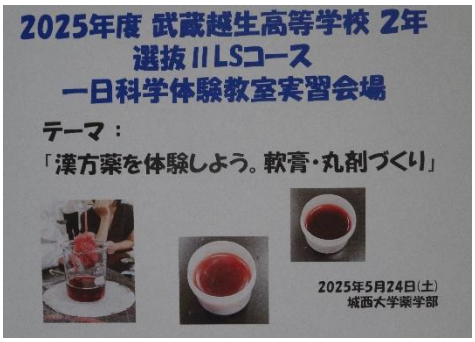
2025 年度武蔵越生高等学校「一日薬学体験教室」城西大学薬学部で学ぶ「生命と薬」

テーマ：漢方薬を体験しよう。軟膏・丸剤づくり



2025 年度 武蔵越生高等学校「一日薬学体験教室」が開催されました。

2025 年 5 月 24 日（土）に、城西大学薬学部において、2025 年度「一日薬学体験教室」城西大学薬学部で学ぶ「生命と薬」が開催され、武蔵越生高等学校 2 年選抜ⅡLS コースの生徒さん 37 名と教諭 2 名が講義と実習を体験しました。

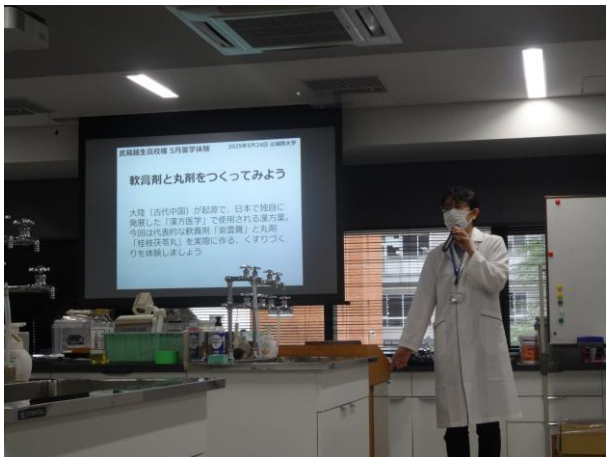
開催の挨拶（岡崎学部長）

テーマ：漢方薬を体験しよう。軟膏・丸剤づくり［講師　薬学部　北村　雅史　准教授］

今回の実習では、紫雲膏（しうんこう）と桂枝茯苓丸（けいしぶくりょうがん）の軟膏剤と丸剤づくりを行いました。紫雲膏は火傷やひび、あかぎれなどに用いられる代表的な外用漢方製剤で、実習ではシコン（紫根）を用いて、紫色の成分がじんわりと抽出される様子を観察しながら、香りや色の変化を楽しみつつ製剤を進めました。シコンから抽出される様子が、まさに “紫の雲” のように見られることを体験することができました。

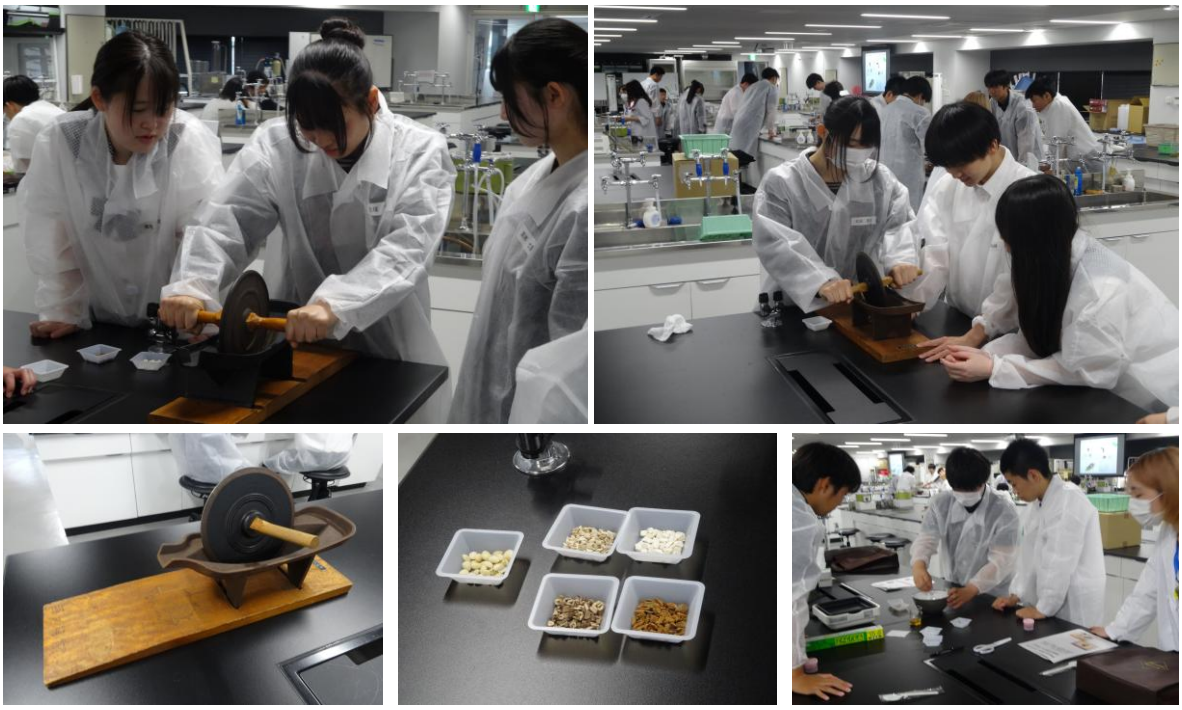
桂枝茯苓丸づくりでは、粉薬を薬研で細かくし、丸剤を作成しました。初めて手にする薬研に、興味深々で参加者にとって新鮮で貴重な体験となったようです。

担当教員からは、「今回の体験を通して、“くすり”がどう作られ、どのように人の健康に役立つのか、少しでも身近に感じてもらえたら嬉しいです。将来、薬学や医療の分野に進むきっかけになれば」とのコメントが寄せられました。



実習風景①（実習内容の説明）

実習風景②（有効成分の抽出）



実習風景③（桂枝茯苓丸：丸剤づくり）

本学では今後も、体験授業やオープンキャンパスを通じて、高校生の皆さんに薬学への理解を深めていただける機会を提供してまいります。

修了式の様子